

さいたま市学童保育連絡協議会の市議選公開政策アンケートについて

□のチェック項目については日本共産党さいたま市議団として全項目に賛同します。

以下は記述部分についての回答となります。

1. さいたま市の委託金制度について/安定した運営のために(記述部分)

学童保育の提供は行政が責任をもって行うべきと考えます。よって運営主体が公立でも民間でも行政が各学童保育クラブの運営を支える財政支出を行政が保障することは当然であるが、本市においては特に民間学童への委託金は不十分であると考えます。

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について(記述部分)

本市では新設・分離が実態としては民間任せになっており、保護者運営の学童クラブでは大変な負担となっています。私自身も小学生の時に民設学童でお世話になった身ですが、当時も6年間の間に学童施設が2回の移転を余儀なくされていて、先生方が物件探しに大変苦労されていたことは重々承知しています。この現状をあらためるためにも要望されている項目はぜひ実施すべきと考えます。

3. 保護者負担の軽減のために(記述部分)

さいたま市は子育て世代の人口増加、児童数の増加が政令市の中でも特に多く、学童保育について民間に大きく依存しておきながら保育料が公立に比べかなり高い状態は問題であると考えます。委託金の増額や支援員の処遇改善補助の大幅な上乘せ、保育料への補助などで負担を下げていく必要があります。

4. 人手不足解消のために(記述部分)

一番の問題は支援員処遇改善の国の補助制度があるにもかかわらず本市がごく一部しか活用していないことです。働き続けられる給与の保障ができる処遇改善とあわせ、アンケート項目にあるような事項を全面的に実施するべきと考えます。

5. ご本人のアピール、メッセージ

私自身、両親が共働きで小学校の6年間は民設の学童に通っていました。低学年の時には特にほぼ毎日通っていて、高学年になってからも友達が習い事などで遊ぶ相手がない時などでも安心して迎え入れてくれる学童保育の存在は本当にありがたかったのを覚えて

います。他の学年の生徒とも親交を深められることも貴重で今でも一学年上の学童の先輩とは週末にスポーツをする仲です。当時やんちゃだった自分を温かく迎え入れてくれた先生方には本当に感謝しかありません。

母も学童の運営には積極的に関わっていましたが、それゆえに学童保育の抱える問題については当時や、学校を卒業してからもよく耳に入ってきていました。「〇〇学童が今までの場所から移転を迫られ、場所が見つからない」「〇〇先生が退職したあと、後任の先生が見つからない」……。私の在学中も先生方の中には生活難で転職せざるをえなくなった方がおられました。30年前からあった問題が今も解決できていないことにも深い憤りを覚えます。

さいたま市は子育て世代からの人気も高く、増える児童を公設学童だけでは賄いきれずに民間学童に放課後保育を大きく依存しているながら十分な支援を行えていないのが現状だと思います。なによりも大切なのは子どもが安心して通えて、現場で働く先生方も安心して働き続けられる環境を作ること、そのためにはさいたま市が果たす役割をもっともっと拡充していかなければなりません。

そのために学童で育った私も当然、全力を尽くしていきます。

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にさせていただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
- 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

当会所属議員の中に学童保育を自ら運営している議員、施設を提供している議員もあり、さいたま市の子育て施策の中の学童保育施策に関しては高い意識を持っています。さいたま市の学童保育は民設民営にシフトされており、公設クラブとの様々な格差が生じている事も認識しているところです。過度な保護者負担が生じないよう、また同じさいたま市の児童が安心して学童保育を利用できるよう更に取り組んでまいります。

ご署名 **自民党** さいたま市議会議員班

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

2023 さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
 クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
 クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

誰もが安定した暮らしの中にいる訳ではありません。その中で、家族の多様化や核家族化が急増し、近くに頼れる人がいないなど、孤独な子育て世帯が増えています。時代の変化と共に、学童保育への支援体制の強化を進めていかねばなりません。北区内では今年度12世帯ものおたが不祥認とお聞かしております。子育てをするにあたり、安心して暮らしていけるように、まずは学童の待機児童の解消に向け取り組んでまいります。ご署名 永しかりな ありがとうございます

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にさせていただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

1.さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

全く現実に見合っていないことがよく分かりました。これではいけません。さいたま市は逃げ

腰になっていませんね

2.新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

どんどん公設の学童保育施設をつくらなければ、今のさいたま市は「他人任せ」にしていて不誠

実です。

3.保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

保護者の方々に負担をおしつけるなんて、もう言語道断であり、市独自の補助金を

のほかに出すべきです。

4.人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
- 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

とにかく待遇改善なくして、よりよい学童保育はないと考えます。どんどん市はお金を出して投資

すべきです。

5.ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

今回、アンケート、資料を送っていただき誠にありがとうございました。大変、厳しい状況の中で、頑張ってくれた学童保育の保護者・支援員の皆様に敬意を表します。
とにかく市が待遇改
ご署名 茅野昌文

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

茅野 市に動くように、力強く市長に働きかけてまいります！

2023 さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。

学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。

学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

少ないかもしれませんが、保育料の負担を減らすのももちろんですが、運営費や施設費、雑費、労働費など物価高騰の問題も相まって、もう少し行政が負担しても良いと思う。

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

学童保育は学校も使うべき。他の施設も使用すると、人数制限もあるのと、修繕費や近隣との関係、自宅からの道のりや距離など親の手間も2倍になるため、

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

公設クラブと民設クラブは付加価値、差別化の部分(英語、体操、塾など)もあるのて、すべて同価格となるのは少し違う気がするが、運営に係る労務を保護者が担うのは、やはり保育料削減が目的とはいえ、忙しい保護者を更に忙しくさせることはおかしいと思う。

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
- 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

支援員の安定雇用のためには行政の職員が担うのも1つだと思う。

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

学童は全児童対象事業として、親が働いているかいないか関係なく、全児童が希望すれば放課後土日いつでも学校にいたい。土曜日の人と共に小学生以外の方も運動やスポーツ、読書、芸術活動などが誰でも希望すれば行えるコミュニティづくりの土場として、いざという時の避難所にもなりうる小学校をもっと活用すべきだと考えます。

ご署名 あいかわ あやか

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

2023 さいたま市議会議員選挙 公開政策アンケート

2023年2月 さいたま市学童保育連絡協議会

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

支援員不足は同業界に身を置く者として痛感しております。
3年目、11年目の壁はまさにその通りと存じます。条例は実態に合っておりません。

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

私自身が放課後等デイサービスを運営しており、学童との連携もしております。
その中ですでに民設クラブも待機児童が出ていると各クラブから声が上がっています。
人口分布に対して適切な配置を早急に公に演説でも訴えております。

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

娘も公設から民設に移りました。なぜ同じ目的の学童に料金格差がでるのか。
下・請求や煩雑な事務手続きが多いのは我が放課後デイでも経費削減のため予算化は必須です。

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
- 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

支援員の処遇改善は必須。おスキルや資格取得に対する補助ない
積極的な財政支出をお待ちです。

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

私は相談支援専門員、児童発達支援管理責任者として母親支援を続けてきました。

公として母親が自分らしく住める事の大切さを知りました。
日本は女性活躍推進と言いながら、何のサポートも感じられません。
まずは母親の、働く母親の環境整備を。これが私の主張として市に訴えついでます。

ご署名 もりけだ 誠

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

支援員不足の観点から、児童が安全・安心した保育が受けられるよう45人を超えることのない運営を目指すと共に、必要児童数に対する施設の開設など行政の側の方が必要だと感じます。

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあっせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

資料からさいたま市の学童保育にあたる個人負担費用とその内訳、施設運営にあたる費用、さいたま市からの補助が記載されているのが残念ですが「行政が整備することが前提での施策」であるならば、公費での補助が必要と考えます。

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

国や市からの制度の活用、適正人数の保育運営を目指した上で、保育料の格差は解消されるべきと考えます。

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
- 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

どの業界も人手不足は大きなテーマです。3年目の壁がどんな問題なのか、保育士の処遇改善が何が本当の課題なのか、資料では見えないうえ、軽率な意見は言えませんが、さいたま市が国の基準と比べ「有資格者の複数設置」を行う方針は支持します。

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

さいたま市は2022年7月0~14歳の人口増加が全国1位、8年連続と聞かれています。これも日頃より児童に正面から向き合っている皆様の存在が大きいと確信しております。子供たちが夢を持ち、大好きなことを一杯挑戦できるように、こどもたちが未来を育む活動をよりよくお願いいたします。

ご署名 服部 光希

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。

日頃より学童保育にご理解、ご支援を頂きまして、ありがとうございます。
学童保育の今後の在り方についてご意見を伺い、今後の参考にさせていただくとともに、広く会員に知らせ、投票の参考とさせていただきますので、下記のアンケートにご協力ください。
学童保育の現状につきましては、別添の資料を参考にいただければ幸いです。

以下の項目にご賛同いただけましたら、□にチェックを入れてください。

1. さいたま市の委託金制度について / 安定した運営のために

- 学童保育は1クラブあたり40名以内の適正規模で継続的・安定的な運営が行われるよう十分な財政的支援が必要である

(委託金制度についてお考えをお聞かせください)

子育て支援体制の強化等、委託金制度に関する事については、党さいたま市政担当で協議しております。
ただ、保育園に比べて学童保育への行政からの支援の少なさは問題意識を抱いております。

2. 新設・分離の支援を含めた学童保育施設の施策について

- 学校内や公的な施設を利用して運営される学童保育をより増やしていくべきである
- 施設の修繕、家賃をはじめとする施設維持の経費は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転等における改修費用、移転費用などの経済的負担は、保護者に負担させるべきではなく公費で賄うべきである
- クラブを新設・分離・移転する際の物件探しについては、行政もできる限りのあつせんや提供等の役割を果たすべきである

(学童保育の新設・分離についてお考えをお聞かせください)

公費が必須な予算については、現場の皆様の声を伺い、使い道を注視いたします。学校内学童や人材バンク空き家バンクの活用を含めて、どの方法が最も良いかを党の中で協議し対策を打ち出して参りますと考へております。

3. 保護者負担の軽減のために

- 公設クラブと民設クラブの保育料格差は解消されるべきである
- 経理・人事・労務など諸経費は保育にかかる経費とは別に予算化、支出されるべきである

(保護者負担の軽減についてお考えをお聞かせください)

市の予算の使い方、方針について、協議を重ねて参ります。お子様を育てることが金銭的にリスクであると思われては、現状の改善が必要であると考へております。

4. 人手不足解消のために

- 安心・安全の保育のために、職員は常勤複数体制を配置すべきである
- 支援員の安定雇用のために、公費による処遇改善を進めるべきである
- 職員の専門性を高めるために、研修をより充実し、質の向上を図るべきである
- 行政主催・後援の合同募集や職員バンクなど、保育園と同等の職員確保策を実施すべきである

(人手不足の解消についてお考えをお聞かせください)

現場の皆様の声を伺いつつ、人材バンクや、支援員の待遇を含めて、党内で議論して参ります。
現場の声を市政に届けるために、努力して参ります。

5. ご本人のアピール、学童保育の保護者・支援員へのメッセージなどがございましたらお書きください

日本維新の会は、「行財政改革」を徹底的に行い、財源の見直しを図って参ります。
学童保育のあり方、行政からの支援体制についても、利用者や現場の皆様の声を伺い、必要に応じて、制度改正、公費の使い方について、さいたま市と議論を重ねていきたいと考へております。
私自身、25歳の若輩者ですが、学童保育の充実、支援は重要なことであると認識しております。
最善の方法を模索しながら、市政にあたり参ります。日本維新の会は、さいたま市民の皆様にとって、新しい選択肢と化するように、活動してまいります。
ご署名 堀川 友良

ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートはこのまま公開させていただきます。